

# HPVワクチン(子宮頸がん予防ワクチン) 接種

問保健課 ☎773・6811

子宮頸がんは「ヒトパピローマウイルス (HPV)」の感染が原因で発症します。20歳代～30歳代の若い世代でHPVに感染する人が増えています。HPVワクチンを接種し、子宮頸がん検診を継続的に受診することで、子宮頸がんによる死亡リスクを低下させることができます。

※この予防接種は強制ではなく、あくまで本人や保護者の意思に基づき接種を受けていただくものです

## 接種費用の助成

HPVワクチン接種の積極的勧奨を控えていた時期に定期接種を見送り、定期接種の対象年齢を過ぎてから、自費でHPVワクチン接種を受けた人に、接種を受けた回数分の費用を助成します。

対 (次のすべてに該当)

- ・令和4年4月1日時点で、市内に住民登録がある人
- ・平成9年4月2日～平成17年4月1日生まれの女性
- ・17歳になる年度初日～令和3年度末日の期間に、HPVワクチン(2価または4価)の費用を自己負担で接種した人

### 必要書類

- ・ヒトパピローマウイルス感染症に係る任意接種償還払い申請書
- ・接種費用の支払いを証明する書類の原本(領収書など)

- ・接種記録が確認できる書類(母子健康手帳など)
- ・接種を受けた人の氏名・住所・生年月日が確認できる書類の写し(申請者と被接種者が異なる場合は、双方のもの)
- ・振込先口座の通帳の写し

### 助成内容

接種費用の実費(上限:定期接種の市の基準単価)  
※紛失などで領収書などを提出できない場合は定期接種の市の基準単価

申請窓口 保健課、子育て支援課、大和・塩沢市民センター

※申請書類は市ウェブサイトからダウンロード可

申請期限 令和7年3月31日まで

## 予診票兼接種券の発送

令和4年4月からHPVワクチンの積極的勧奨が再開されました。対象者には、予診票兼接種券を令和5年1月までに順次発送しました。接種は無料で受けることができます。

接種を希望する対象者で、予診票兼接種券がない人には新たに発行します。母子健康手帳を持って保健課、子育て支援課、大和・塩沢市民センターのいずれかにおこしく下さい。

### 定期接種対象者

小学6年生～高校1年生相当の女性

### キャッチアップ接種対象者

(積極的勧奨の差控えにより、接種機会を逃した人)  
平成9年4月2日～平成18年4月1日生まれの女性

## 問保健課

☎773・6811

食育コーナー 災害時にも役立つ「食推さんのレシピ紹介」

## パックフッキング

湯せんでできる耐熱のポリ袋を使用した調理法です。調味料の使用量が少なく、減塩や油を減らせる、栄養素の流出を防ぐなどの利点があります。1つの鍋で複数同時に調理すると時短になり、洗い物が少なく、災害時にも役立ちます。この調理法でつくるメニューを紹介します。

### サバじゃが

#### 材料(2人分)

サバみそ煮缶1缶(140g)、ジャガイモ1個(約100g)、ニンジン1/2本、キャベツ2枚

#### 作り方

- ① ジャガイモ、ニンジンは皮をむき、小さめに切る。キャベツは手でちぎる。すべてポリ袋に入れる。
- ② サバみそ煮缶を汁ごと①に入れて、中の空気を抜いて固く結び、厚みをならす。
- ③ 沸騰した鍋に②を入れ、20分ほど加熱する。

※食推さんのおすすめレシピは、市ウェブサイトで公開しています

